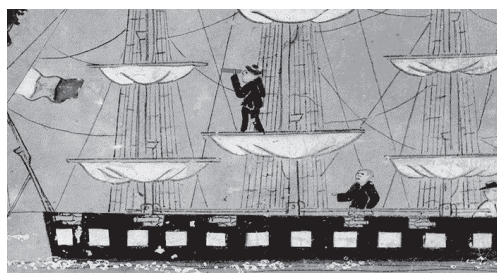
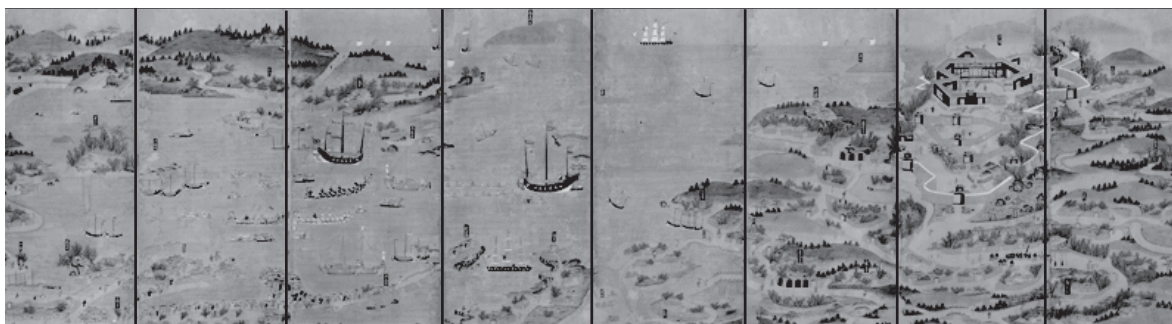




しゅりなはこうずびようぶ
首里那覇港図屏風を読む

首里那覇港図屏風は、琉球王国時代の王府があった首里、港町だった那覇の賑わいを描いた絵図です。屏風絵から当時のようすを調べてみよう。

1. A～Lの場面は、屏風の中のどこに描かれているでしょうか。下の屏風絵の中に記号を書き込みましょう。



A 外国船とその乗組員



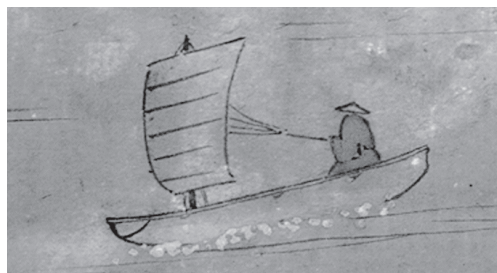
B 踊っている人。現在の那覇市西町にあったバクチャーでの様子



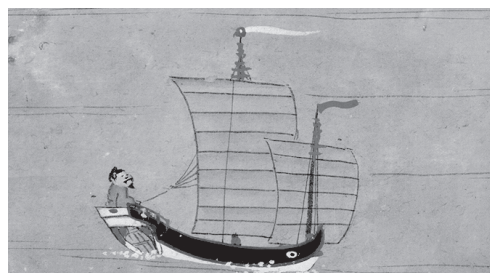
C お城へのぼる侍の行列



D お供をつれたお坊さん



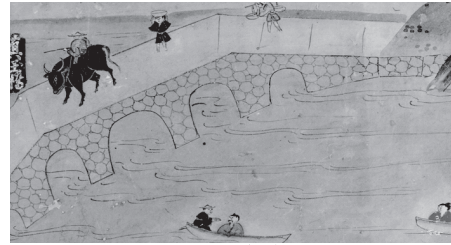
E サバニ。沖縄の伝統的な漁船です



F マーラン船。山原と那覇や与那原を
行き来していました



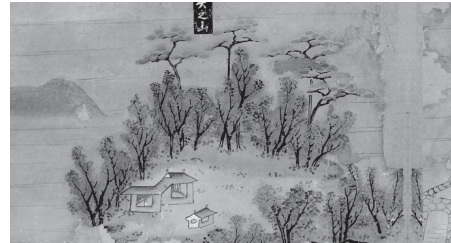
そうげんじ
G 崇元寺



まだんばし
H 真玉橋



I 守礼門



おくのやま
J 奥武山



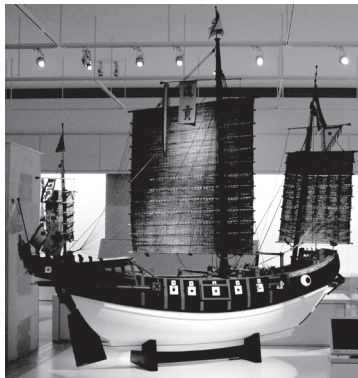
K 波上宮



L ハチマチをつけた士族たち

2. 次の①～④のうち、絵図の中に描かれているものを答えましょう。また、あなたのまわりでは、②～④の行事は何月におこなわれていますか。

絵図の中にあるもの（ ）



①中国から帰ってきた進貢船（5～6月）



②ハーリー（ ）月



③綱引き（ ）月



④エイサー（ ）月